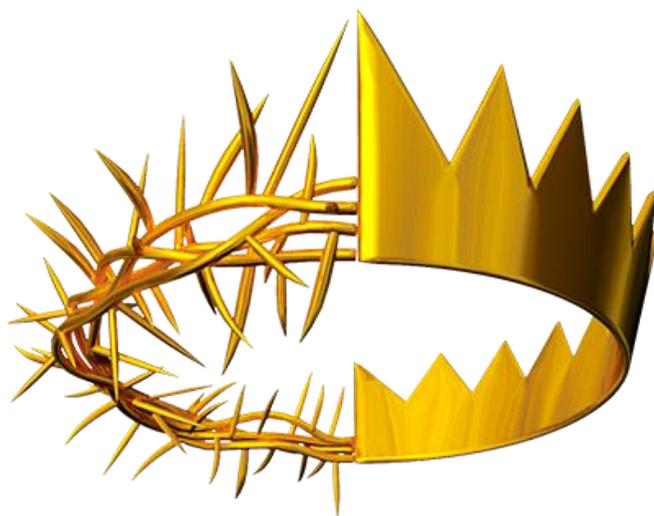


# 2023年 第1期 献金の勧め



セブンスデー・アドベンチスト教団  
スチュワードシップ部

## 1月7日 信頼とは

私たちは、神がご自分の教会を愛しておられるゆえに、什一と統合約束献金をささげて礼拝します。教会は信徒の共同体としてイエスによって設立されました。「教会のために御自分をお与えになった」キリストは、その頭であり、隅の頭石です。また教会は主の「花嫁」として「真理の柱であり土台」として奉仕する、という特別な働きを与えられています。「教会はどんなに弱く欠陥だらけのように見えても、神が特別な意味で最高の関心を払われる対象である。」とエレン・ホワイトは書いています。

神の教会への愛に応えて、初代教会の信徒たちは地元の教会だけでなく、遠く離れた教会も支援しました。ルカは、ローマ帝国全体を襲った深刻な飢饉における、教会の同情にあふれた行動について記しています。使徒パウロはエルサレム教会のための献金について繰り返し手紙の中に書いています。初代教会の信徒たちは、神の教会を支えることによって、愛と気前の良さという原則を適用したのでした。

教会には欠点があります。しかし、教会は愛されており、特別な目的を持っています。今週も什一と統合約束献金をささげて礼拝することによって、キリストが愛しておられる人々を愛し、支援するという召しに応えましょう。

## 1月14日 一つの場所、唯一の神

私たちは、真の礼拝として、什一と統合約束献金をささげます。レビ記 17 章には、犠牲をささげる適切な場所について書かれていますが、宿営の中央に会見の幕屋というささげるための唯一の場所が設けられました。興味深いことに聖書は、ささげる場所だけでなく、犠牲を受け取られる唯一のお方にも焦点を当てています。イスラエルの人々にとって、会見の幕屋は「主の幕屋」、つまり主がご臨在される場所でした。つまり、神はご自分が彼らの礼拝の唯一の対象であるがゆえに、犠牲をささげるための一つの場所を指定なさったのです。

ダビデ王の「わたしは献げ物を携えて神殿に入り／満願の献げ物をささげます」という言葉は、私たちに什一とささげ物の適切な行き場所についての答えを提供しています。エレン・ホワイトはこの原則について、「主に属する什一とささげものが、明らかな働きを成し遂げるために使われる時が来た。それらは、福音の働き人の奉仕を支えるために、正しい手順で、使われるよう、宝庫に運び込まなければならない」と書いています。

今週、私たちは什一と統合約束献金を神の教会に携えて来る新たな機会があります。神がお定めになった場所で礼拝する時、もう一度、主だけを私たちの礼拝の対象とする選択をしましょう。

## 1月 21 日 霊的な祝福を感謝する

私たちは神が霊的な指導者たちをご自分の民に奉仕するために任命されたゆえに、什一と統合約束献金をもって礼拝します。民数記によると、祭司は、祭壇と幕屋の中における奉仕に任命され、レビ人は幕屋に関する他のすべての奉仕をするために任命されました。彼らの奉仕は霊的な祝福をもたらしました。

では彼らの生活はどのようにして支えられたのでしょうか。民数記 18 章には「あなたには、イスラエルの人々が聖なる献げ物としてささげる献納物の…一部を定められた分として…与える。」「わたしは…献納物の十分の一をレビ人に彼らの嗣業として与える。」と書かれています。神はご自分のものである聖なるささげものを祭司に、また聖なる什一をレビ人に与えました。この方策は、彼らの重要な奉仕には、全的献身が要求されたことに基づいていました。

牧師と霊的指導者たちは祝福の源です。では、私たちは什一やささげものを彼らに対して支払うのでしょうか。いいえ、違います。私たちがお返しした什一やささげ物は神の所有物となり、神はそれをご自身の意思の通りに用いられるのです。

今週、什一と統合約束献金をささげて礼拝する時、私たちは神の救霊の働きに参加するという特権を喜びましょう。

## 1月 28 日 すべての人のために、すべてのものから

私たちは特権であり祝福である什一と統合約束献金をもって神を礼拝します。しかし、私たちはそのことを本当に実感しているのでしょうか。ある人たちはレビ記 27 章を引用して、什一をお返しするという行為を、農業や牧畜に従事する人々に限定して考えました。会社員、職人、教師、建築業、あるいは他の職業で収入を得る人々は、什一を免除されるのでしょうか。このような限定的な理解について喜ぶ人がいるかもしれませんが、逆に特権と祝福から除外されたと悲しむ人もいます。

レビ記 27 章では、主にささげられた物を買戻し、お金に換えることについても書かれています。この交換には主にささげられた人々、動物、家、土地、田畑も含まれています。イスラエル人は土地の産物の什一を現金に換えることもできましたが、動物の什一については換金できないこと、また現金で得た収入の什一については言及されていません。

動物であれ、農作物であれ、他の収入源であれ、すべての什一が主にささげられるものであることは明白です。主はすべての人からの什一を期待されています。それは一定の職業に限定されていません。今週も、すべての人が什一と統合約束献金をささげて主を礼拝するよう招かれています。

## 2月4日 主の約束を求める

私たちは献金をささげて神を礼拝し、神の約束を求めます。聖書は 7,487 もの約束で満ちています。神の約束は、真実であり、誰もが求めることができますが、しばしば条件付きです。エレン・ホワイトは「神に従う者は、すべて、確信をもって、神の約束の成就を求めることができるのである。」と書いています。

カリフォルニアの農夫フレッド・スタイアウォルトの体験は、従順であることの価値を示しています。ある日の午後、フレッドは甲虫の大群が彼の田畑を覆うのを見て、畑の緑が無くなるまで食べ尽くしてしまうだろうと察しました。途方に暮れているフレッドに、娘のヘレンは言いました。「お父さん、什一をお返ししているでしょ。」「もちろんだよ」と彼は応えました。「それなら、神様に約束を守ってくださるようお願いして、甲虫を追い出してくださいたらいいのに」。彼は娘と一緒にひざまずいて祈り、マラキ書 3 章の約束を求めました。祈った直後、クロウタ鳥の大群が田畑に降りてくるのが見えました。鳥は短時間とどまっただけでしたが、飛び去ったあとに甲虫は一匹もいませんでした。

神は従順な者たちのために、天に祝福を満たしておられます。今週、私たちが什一と統合約束献金をささげて礼拝する時、神の約束を求めることのできる状況に置くのです。

## 2月11日 年に一度の犠牲

パウロは「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい」と言っています。

今日、世界中で何百というグローバル・ミッション・パイオニアたちが未開拓の地に行き、新しいセブンスデー・アドベンチストのグループを作るために出かけています。彼らが働きを始める場所の多くは、教会が成功してきた場所ではありませんが、開拓者たちの誰も、不可能な働きだ、などと言うことはありません。彼らはわずかな棒給で出て行き、その地域に馴染み、キリストの奉仕の方法を実践しているのです。彼らはあらゆる方法で人々と交わります。同情を示し、とても実際的な方法で、必要に応じて奉仕します。そして、人々の信頼を得てから、彼らに、イエスに従うよう伝えるのです。これらのパイオニアたちは、イエスが地上で受肉されたように、人々の中に溶け込みます。彼らは質素な生活をして、他者を神との愛する関係に入るよう導くために、時間と努力を犠牲にしています。

今日、グローバル・ミッションの開拓伝道のことをおぼえ、什一と統合約束献金を惜しみなくささげましょう。

## 2月18日 規則正しさは規則正しさを要求します

私たちは、神のご配慮と規則正しさに対する応答として、規則正しくささげることによって神を礼拝します。試練、悲しみ、屈辱を経験しながらも、預言者エレミヤは、神の約束、愛、恵み、憐れみ深さ、優しさ、慈しみなどについて多くを書き記しています。エレミヤには、危機的状況の中であって、毎日定期的に神からしるしが与えられました。

民数記には、イスラエルの人々が、日毎に、週毎に、月毎に、そして、年毎の祭りで礼拝したことが書かれています。興味深いことに、仮庵の祭りの間、彼らは最も多くの特別なささげものをしましたが、祭りの間、毎日 8 回ささげられた特別なささげ物は、定期的な日毎のささげものに加えてささげられたと記されています。

常に、定期的にご自身を現わされる神は、復活祭やクリスマス、特別な安息日だけに礼拝するのではなく、わたしたちに定期的な礼拝を期待されます。この原則は私たちのささげものの実践についても、特定のプロジェクトや働きを支える特別な献金を不定期にささげるだけでなく、これらを定期的な献金に加えてささげることが適切だと教えています。このような実践は、あらかじめ割合を決めて、収入がある度に定期的にささげ物を聖別することを意味しています。

## 2月25日 管理するだけでなく富を築きなさい

私たちは神が富を築く力を与えてくださったので、什一と統合約束献金をささげて礼拝します。タラントのたとえ話では、主人の所有物から分担金を受け取った僕たちがより多くの富を築くために分担金をいかに使ったかについて書かれています。3 人の僕はみな、主人のものを忠実に返したという点で共通しています。しかし、そのうち 2 人はそれに加えて、受け取ったものを用いて富を築いたので、主人に報われました。神は「富を築く力」をすべての僕たちに与えていますが、不幸なことに、3 人目の僕はそれを用いなかったので、主人の報いを取り上げられてしまいました。

エレン・ホワイトは「キリストを信じると告白することは、主のために働く者として、最善を尽くして、向上することを誓約することである。」と書いています。生活のすべての面における成長と財産を築くことは神から与えられた課題です。この責任は、しばしば、勇気、力、忍耐、自制を必要としますが、神は富を築く力を与えてくださっています。

忠実なささげものを通して私たちは祝福の源となります。今週、私たちが什一と統合約束献金をもって礼拝する時、可能な限り財産を増やすことによってさらなる祝福となるという約束を感謝しましょう。

### 3月4日 特別な与え主

神はしばしば私たちの必要が生じる前にそれに対する対策を与えてくださるゆえに、私たちはささげ物によって神を礼拝します。夢の中で、神はファラオに7年間にわたる深刻な飢饉がエジプトを襲うこと、またその危機が始まる前に7年間の豊作があることを知らせました。ヨセフの指導のもとで、彼らは危機に対して準備をすることができました。

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、家族で外国に滞在していた人が特別な体験をしました。外国に滞在していたため彼は就労許可の更新が必要でしたが、その手続きに予想以上の時間がかかったため、期限が切れて働くことができなくなりました。実はその7か月前、コロナ禍で多くの会社が破綻し、従業員を解雇していた時、彼は奇跡的に給与の高い仕事に就くことができたのです。その時には、将来直面する経済的な危機については想像もしていませんでした。就労許可は、9か月後ようやく与えられました。この期間、蓄えていた資金で生活することができたのです。神は必要が生じる前に解決を与えてくださっていたのです。

今週、私たちが什一と統合約束献金をささげて礼拝する時、私たちが予期していない危機のためにすでに解決を与えておられる神に感謝を表しましょう。

### 3月11日 貧しい時の気前良さ

経済的困難の中にあっても、神の恵みのゆえに、ささげ物をもって神を礼拝することができます。マケドニアの信徒たちは経済的に深刻な試練に直面していました。彼らのささげものは多くはありませんでしたが、惜しみなくささげたことをパウロに称賛されました。彼らはどん底の貧しさにとらわれず、神の使命のためにささげるといふ喜びに加わったのです。

ある教会の礼拝で、経済的に困窮している教会の仲間を支援するための特別な献金をささげるよう訴えがありました。貧しい家族が、その訴えに心動かされて犠牲を払う決心をし、1週間いつもより質素な食事をして貯めたお金をささげました。彼らは特別なささげ物ができたことを喜んで家に帰りました。その夜、彼らの家に牧師がやってきて、教会からの贈り物が入った封筒を手渡しました。中には、彼らがささげたよりはるかに多くのお金が入っていました。

私たちはどんな経済的な状況の中でもささげる喜びを経験することができます。すべての人は「力に応じて」ささげることができるのです。神は私たちに、受け取った収入に応じてささげるよう招いておられます。什一と統合約束献金をささげて礼拝する時、すべての人がささげる喜びを味わうことができます。

## 3月18日 巨人に立ち向かう者に力を与える神

人生の試練に立ち向かう時、神が力を与えてくださるゆえに、ささげ物をもって神を礼拝します。サウルと彼の軍隊は、国境を越えてきたペリシテ人と戦うために出て行きました。戦場では巨人ゴリアトが戦いを挑んできました。何ヶ月にもわたってゴリアトは執拗にイスラエル人を悩まし続けましたが、ベツレヘムの少年ダビデは、神がゴリアトの挑戦から救ってくださることを知っていました。神に力を与えられたダビデは、巨人を倒した者として後世まで知られることになりました。

ある少年が説教者になる夢を持っていましたが、深刻な吃音症を克服しなければなりません。この先天的な障害にさまざまな治療を試みましたが、何の効果もありませんでした。しかし、吃音という巨人に立ち向かった少年は神の力によって癒され、夢を実現することができました。

人生において、予期しない困難という巨人におそわれることがあります。しかし、私たちは神の力によって勝利することができます。このことは、私たちがささげ物によって礼拝するための十分な理由ではないでしょうか。今週、什一と統合約束献金をささげて礼拝する時、数えきれないほどの神のご介入を思い起こしましょう。

## 3月25日 王の誕生を祝う

私たちは、真の王であるイエスがこの世にお生まれくださったゆえに、ささげ物をもって神を礼拝します。いつの時代にも人々は王族の赤ちゃんの誕生に強い関心を持っています。2019年マウントバッテン・ウィンザー家に生まれた「アーチャー」という名の赤ちゃんについて、メディアは詳細な情報を提供して人々の好奇心に応えました。イギリス王室のハリー王子とメーガン妃の間に生まれた最初の子供の誕生を多くの人々が祝いました。

2000年前に特別な星を見た東方の博士たちは、はるばる危険な長旅に出ました。エルサレムに到着した時、彼らは自分たちの旅の目的について「私たちは、ユダヤ人の王として生まれた方を礼拝しに来たのです。」と言いました。マタイによる福音書には、幼子イエスを探し当てた博士たちについて、「彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。」と書かれています。彼らは、真の王である赤ちゃんを、贈り物をささげることによって敬ったのです。

今週、私たちが什一と統合約束献金をささげて礼拝する時、東方の博士たちが、贈り物をささげることによって、真の王の誕生を礼拝したことを思い出しましょう。